

「若いパワーももらった」

横須賀の 入所者、子どもと交流 特養ホーム

横須賀市佐島の特別養護老人ホーム「ヒューマン」で23日、入所者のお年寄りらと市内の子どもたちが交流を深めた。2歳児から1

01歳までの計約70人が参加し、車いすを磨いたり、ゲームをしたりしながら楽しいひとときを過ごした。高齢者福祉の活動を進め



ゲームなどを通し交流を楽しむお年寄りと子どもたち
—横須賀市佐島

るボランティアグループ「どんぐりの会」(井出聖子代表)の企画。1995年に発足した同会には30人が所属。年間約50回、市内の高齢者施設などを訪問して民謡を演奏したり、折り紙などの手作り教室を開いたりしている。

この日は会の呼び掛けに応じた子どもたちや保護者、大学生計23人も加わり、お年寄りが座る車いすをタオルで拭きながら会話を楽しんだほか、風船遊びや歌を通し交流した。子どもとお年寄りが手を取り合ってふれ合う姿も見られた会場は、多くの笑顔であふれた。

車いすを熱心に磨いていた小学3年生の武石侑一郎君(8)は「おじいちゃんとおばあちゃんが楽しそうでうれしい」とにっこり。入所者の郡喜代子さん(87)は「若い人のパワーをもらいました」と声を弾ませていた。

同会は活動の体験希望者を募集している。問い合わせは、同会☎046(844)4418。

(服部 エレン)